

菅田中学校だより

第7号 令和5年(2023) 10月31日
横浜市立菅田中学校

「互いを認め合い幸せをつくる」 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sugeta/>

「合唱の魅力と日々の授業」

～主体性と協働力・コミュニケーション力を育むために～

校長 山口 毅

10月20日に実施した菅田中学校合唱コンクールでは、各学級で合唱におけるドラマが展開されたと思います。そんなドラマを生み出してくれた「合唱」の魅力を振り返ってみましょう。

さて、皆さんは「アクティブ・ラーニング」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これは、先生から生徒への一方的な説明や教えだけではなく、課題を解決するために皆さん自身にも主体的かつ協働的に学んでもらおうという考えです。

こうしたアクティブ・ラーニングの宝庫ともいえる活動が、実は「合唱」です。

合唱はまず、皆さん自身がそれぞれに歌う意欲を持たなければ成り立たないという点で、一人ひとりが主体的であることが求められます。また、それぞれが好き勝手に歌うのではなく、全員の声を合わせてハーモニーを生み出していかねばならないので、協働的であることも必要です。主体性と協働性の双方を大切にしながら全員で練習を積み重ねていくうちに、皆さんはより深い学びを得ることができるようになります。それは音楽的な学びだけではなく、お互いを思いやる気持ちや合唱を聴いてくれる人に対する感謝など、人間的な成長をも促す学びなのです。

今回は、音楽科授業の限られた時間だけでは、合唱に親しむのには難しい側面もあることから、朝の授業の開始前や、放課後クラスのみなどで合唱をする時間を設け、取り組み続けました。今後、今回の合唱経験を活かし、パートリーダーや伴奏者・指揮者となる人を尊重して、クラス全体で互いに成長することを目指すことで、さらなる波及効果が期待できると思います。合唱を楽しみと思うこと、もっとうまく歌いたいという憧れを持つことなどは、合唱に取り組む際の重要なポイントになると思います。

みんなで合唱した時のハーモニーの感動は、その後の長い人生の中でも、ずっと心の中に思い出として残っていきます。誰でも気軽に参加できて、みんなの心を豊かにし、人間としての成長も促すことが、合唱の魅力だと思います。

合唱の魅力を伝えましたが、その魅力以上に大切なものとして、学校における「授業」があげられます。

少し先の話になりますが、皆さんがどのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが大切で、こうした力をつけるのが「学校での授業」です。

授業の中で、「○何を理解したかな・・・」・「○理解したことをどのように使うことができるかな・・・」と先生方と一緒に考えることができると、その授業が確実に身に付いていくと思います。

授業学習を確実に身に付けるための具体的な家庭学習の仕方については、自分で取り組む時間を持つことが非常に大切です。教育原理という学問では、習ったことを定着させるには、自分自身で課題に向き合う時間を確保し、自分自身で取り組むことが有効であるといわれています。

この時期、学びに向かう力をつけるためにも、自分自身で課題に向き合う時間を確保し、自分自身で取り組むことを家庭学習で実践してみましょう。